

薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会第8回会合の概要

平成25年3月26日

薩摩川内市

【ポイント】

1. 2月20日(水)に開催された上記会合において、事務局より以下の項目について説明を行った。
 - (1) ビジョン策定委員会第7回会合の概要について
 - (2) 地域との対話の概要について
 - (3) 次世代エネルギービジョン(案)及びキャッチフレーズ(案)について
 - (4) 行動計画(案)及び具体的事業例について
 - (5) 今後のフォローアップ(案)について
 - (6) 平成25年度当初予算案における主要関連項目について
2. キャッチフレーズ(案)については、各委員の意見等を伺ったうえで、委員長に一任することとなった。
3. 今後のフォローアップ(案)については、目的、構成及び機能等、特に委員の方々に来年度も協力いただけることについて了承が得られた。
4. また、柏木委員から提出があった「薩摩川内市における具体的取り組みに関するコメント」についても事務局より説明を行った。
5. 委員からビジョン(案)の細部に至る記載内容や行動計画(案)に係る具体例など、それぞれの項目に対し多岐に亘るコメントがあった。

委員から頂いた主なコメントは以下のとおり。

1. 次世代エネルギービジョン(案)について
 - (1) 地区コミュニティ協議会は薩摩川内市の特色であり、他都市と差別化する意味でも意見交換会の内容等についてビジョンの中に記載したほうがよいのではないか。
 - (2) 鹿児島県の新エネルギービジョンとの関係について、本ビジョンにどのように反映されるのか。
 - (3) 本文中の「次世代自動車」と「エコカー」の表現は整合性をとり、またPHVも追加してはどうか。

2. キャッチフレーズ(案)について

- (1) 広告代理店などに意見を伺ったことはあるのか。
- (2) 薩摩川内市民すべてに通じることが大事ではないか。

3. 行動計画(案)及び具体的事業例について

- (1) 雇用の創出が最終目的であるので、東京等にある薩摩川内会の参加者に協力をお願い、交友関係等も活用して事業提案等をいただいてはどうか。
- (2) 地域の課題や資源が盛り込まれており、ここまで掘り下げたものは中々ないが、よりスムーズに進めるには庁内部局間の連携・協力・共有が重要である。
- (3) 産業活動については具体的な取り組みが見えにくいので、ニーズがしっかりあることに重点をおいて記載したほうがよい。
- (4) 農業は利益が出にくく大変なことが問題であるので、良いものには付加価値をつけて高く買ってもらい、利益がでるようになれば活性化するのではないか。
- (5) 市民に理解できないようなロードマップもあるので、短期・中期・長期のステップ毎にどのように進めていくのか市民に見えるように具体化していくことが必要ではないか。
- (6) 最後に誰が主体となって推進していくのか不明確な場合が多いので、実現性が高く現実味のあるものを早めに形にして成功事例をつくり、市内だけではなく外に向けて発信すればよい。
- (7) 他都市にはない基幹エネルギーを活かし、できるところから進めていくこととし、試験的にでも具体的な取り組みを進めると次の段階が見えてくるのではないか。
- (8) 薩摩川内市は一次産業がポイントになり、この活用はエネルギーと直ぐに結びつくので、良い取り組みになるのではないか。
- (9) 薩摩川内市は一次産業が危機的状況にあるので、そこに次世代エネルギーがどう貢献できるかであり、一次産業が一次産業を支援するようなエネルギーの使い方を考えるとよいのではないか。(例:ハウス燃料にバイオマスを利用)
- (10) これらのテーマが全て上手くいけば、市の総生産が上がることは容易に想像できるが、誰がどう動くかプレイヤーが誰なのかが最も重要である。
- (11) 農業は耕作放棄地の大規模取得に加え、そこに次世代エネルギーをどうミックスするかであり、また観光はイメージアップ作戦やPRが大事である。いずれにしても、できることから実行していけば前に進むのではないか。

以上